

特集「2012年度人工知能学会全国大会(第26回)」にあたって

阿部 明典

(千葉大学, 2012年度全国大会実行委員長)

本特集は本年度に行われた第26回人工知能学会全国大会の記録です。全国大会の大規模な報告特集は本誌では初めてです。

ここ数年、全国大会が非常に盛況で、毎年参加者が増え、企画も多彩になっています。今年の参加者は800人を越えたようですが、それでも会員の半分も参加していません。都合により参加できなかった方、これまで参加したことのない方など、いろいろいらっしゃるかと思えますので、大会の一端でも知っていただきたいと思い、本特集を企画しました。

紙数の都合上、すべてを網羅できませんが、今回は、まず著者が全国大会開催の経緯をまとめたアートの、浅田 稔大阪大学教授の招待講演の全文掲載(日本の学会誌なので、日本語に翻訳したほうがよいかもしれませんが、大会の雰囲気を感じていただくために、あえて英語のまま掲載しました)、若い研究者が中心となって推進している新しい研究分野による、最近非常に活気のあるオーガナイズドセッション(今回から国際オー

ガナイズドセッションも併催)、大会の前日に行われたWorkshopの報告、スポンサーシップとスポンサーとの交流の報告というラインナップで構成され、さらに、学生フォーラム、会議報告の中の交流会報告も本全国大会の記録ですので、そちらも併せて読んでいただきたい。

本特集では、一般セッションへの言及が余りありませんが、大会として一般セッションを軽視しているわけではありません。一般セッションでも毎年、優れた研究が発表されています。その一部は速報論文などの形で論文誌に紹介されています。確かに、一般セッションで発表されている分野の割合などの統計的データを出すことができますが、その程度の報告では余りに無機的だと思い、今回は割愛しました。今後は、できれば、発表の内容にまで踏み込んで報告するべきですが、一般セッションの内容は多岐にわたり、詳細に報告することがオーガナイズドセッションに比べると難しいので、今後の課題としていただきたいと思えます。では、全国大会の臨場感あふれる報告をお楽しみ下さい。